ニュースリリース

２０２５年６月１７日

県下１位の生産量！フラワーアレンジメントでも人気！

「クルクマ」収穫最盛期！

【７月下旬／碧南市内で収穫風景を紹介します】

ＪＡあいち中央碧南クルクマ部会（部会長：林口英志）が栽培するクルクマが、７月中旬から出荷の最盛期を迎えます。クルクマは東南アジア原産のショウガ科の植物です。1990年に大阪で開かれた「国際花と緑の博覧会」で初めて紹介されたもので、碧南市では93年から全国でもいち早く切り花の生産を始めました。

暑さに強く、ハスの花に似ていることから、主に仏花として用いられるため、新盆、旧盆の需要に合わせて栽培しています。夏場でも日持ちが良く、明るい色の品種が多いことから、ブライダルやフラワーアレンジメントでも人気です。

今年は、定植時期の３月以降、温暖な気候により生育が早まると予想されましたが、５月中旬以降、気温が上がらなかったことから例年並みの生育となりました。品質は、色・ボリュームともに良好です。

一本ずつ丁寧に収穫します

碧南市で栽培している品種

同部会では、主力品種の「シャローム」を中心に苞葉（葉の一種）が緑色の「チョコゼブラ」、白色の「モンブラン」など、25品種を栽培しており、「シャローム」が全体の約５割を占めています。

クルクマの花びらに見えるものは、苞葉で、その下の小さな紫色のものが花です。

紫色の小さい
クルクマの花

主力品種の
「シャローム」

ＪＡあいち中央碧南クルクマ部会

部 会 員：７人　　**栽培面積**：約1.0ヘクタール
出荷時期：６月中旬～10月下旬（最盛期：７月中旬～８月上旬）
総出荷量：約35万本（25品種、2025年度計画）
流 通 先：東北・関東（約８割）を中心に、甲信越・中京市場にも出荷しています。

＜メディア対応＞

日　　時：2025年７月下旬　午前６時50分（予定）
集合場所：ＪＡあいち中央碧南ひがし支店（碧南市照光町５-27）
※碧南市内のハウス（車で約５分移動）で収穫作業の撮影、生産者へのインタビューを予定しています。
※天候や作業状況等により、日時・集合場所が変更になる場合があります。

（お問い合わせ先）※取材にお越しいただく際には、事前にご一報ください。
ＪＡあいち中央総合企画部企画課広報強化対策室（担当：山村、杉浦、細井）
TEL：0566-73-5504／携帯：080-3667-3853／E-mail：kouhou@jaac.or.jp